

「伝染性紅斑（りんご病）」が、発生しています。

● 症状・特徴 疑わしい場合は早めに受診を！

- ・ 軽いかぜ症状の後に、頬が赤くなったり、手足に網目状の紅い発しんがでたりする
- ・ ほてりや軽いかゆみ、痛みを感じることもある



● もし、伝染性紅斑（りんご病）と診断されたら… かかりつけの医師に相談してください。

【登所(園)のめやす】

全身状態がよいこと

(発しんがでた時にはすでに感染力がなくなっています。)

こども家庭庁：保育所における感染症対策ガイドライン（2018年改訂版）参照

かかりつけ医の「集団生活に支障がない状態」との判断を受けてからの登(所)園になります。



【潜 伏 期 間】 4～14 日

【感染しやすい期間】 発しん出現前の 1 週間



出典：国立感染症研究所

● ご家庭で気をつけること

- ・ 直射日光にあたったり、入浴をすると赤みが強くなったり、発しんが長引くことがあります。
- ・ 妊婦さんがかかると、胎児に影響することがあります。
流行中は送迎などをなるべく避けるか、マスクを着用しましょう。
- ・ 手洗いや咳エチケットに努めましょう。

